

学びの実感

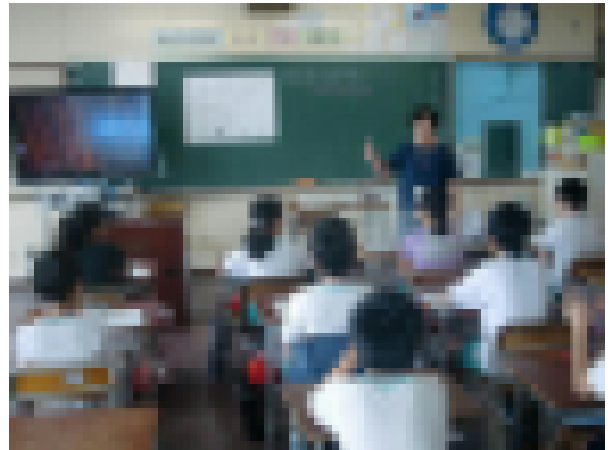
ことばのちからは 生きる力

仙台市立古城小学校
研究部だより
2013年
9月6日(金)
NO: 8
文責: 金子

形が同じで大きさが違う図形を調べよう

◎昨日は、6年1組の少人数形態の2回目。細倉先生の流れを受けた授業でした。

◎今回の研究授業では、コーチングとティーチングについて改めて考えさせられるものがありました。ティーチングが得意な私としては、コーチングができる麻子先生は目標です。今回の授業でも、コーチング要素を入れた指導案でありながらも、児童の反応を見てティーチングをと入れる柔軟性は「さすが麻子先生!」といったところだと思いました。「C」群の児童の反応を見ての手厚い対応なども勉強になりました。



◎麻子先生が「ちょっと焦ってしまった」といっていました。「どこが?」と思いましたが、「麻子先生でも焦るときあるんだなあ」と思うと、「私が焦って動揺しても仕方がないな…」と個人的に安心してしまいました。

◆事前検討会から◆

○その1

教科書は見せないで進めます。

→答えを探させない、自分で考え、自分で解けるようにしたいから。

○その2

縮図は前時までで全員が書くことができることを前提にします。

→少々プレッシャーはありますが、今回の問題(複合問題)を考えると時間確保のために必要なこと。頑張りたい。

○その3

解決の見通しは最後に示します。

→「縮図を書く」「長さを測る」「実際の長さに変換する」の3つのステップを子供たちに気がつかせたいし、前時まで学習していることなので、子供たちの中から出てきてほしいから。



【事後検討会】

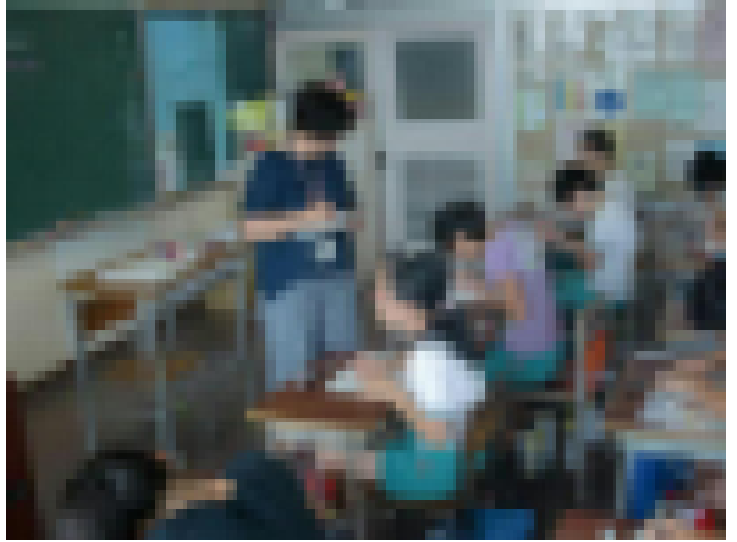
〈自評〉

- ・細倉先生の授業を参観して、下位群の児童のために、作図しやすいようにノートを使用しました。
- ・「分かっている」と思っていたことが実は、「分かっていたいなかった」と言うことが分かった授業でした。
- ・拡大図、縮図で学習したすべてを活用しなければならない今回の課題でした。複合問題だったので難しかったかもしれませんが。
- ・児童の反応を見てスモールステップを取り入れてみました。それが良かったのか悪かったのか。一問一答の形になってしまいました。子供たちを信頼してステップを細かくせず任せた方が良

かったかも…。

〈参観者から〉

- ・縮図を書いて計測し実際の長さに戻す際、いくつかの答えが出てきましたね。鉛筆の太さや角度のずれなど予想（想定）の範囲内でしたね。次時の縮図の指導のポイントも絞れたのではないのでしょうか。
- ・解決の「見通しを持てた子」と「持てなかった子」のスピードの違いや指導（声かけ）のバランスが難しいことがよく分かりました。
- ・「書くために何が必要か」の発問で子供たちが「何を答えれば良いのか」迷ったかもしれません。
- ・スモールステップ取り入れて良かったのか？できる子供たちには思考の妨げになってしまったかも…。
- ・少人数形態とはいえ、今回のような複合問題で授業を進めていく難しさを感じました。少人数の分け方や補助プリントの活用などいろいろありそうです。



【課題のリレー】

(有効・・・○ 課題・・・●)

- 今回の図形の授業では、実物投影機の必要性を感じた。板書の時間を省略でき、時間を確保することができるから。
- ペア学習では、自分の考えをしっかりと友達に伝えることができるのに、全体発表となると挙手する児童が減る。列指名などをして発言させる工夫が必要であろう。
- 複合的な問題に取り組ませる際には、児童のレベルにあった指導過程（例：AタイプとBタイプなど）で並列で記載するなど、児童への配慮が必要かも…。

次回の授業は、

9月12日（木）	友子先生	「変わり方調べ」
9月19日（木）	齋藤先生	「わり算の筆算」
9月20日（金）	昌子先生	「どちらがおおい」
9月下旬	啓子先生	「3つの数の計算」

◇おまけ◇～今回の事後検討会の最後の話～

- A：道具の正確な使い方ができることは大切ですね。特に今回の縮図では、鉛筆の太さ程度のずれが大きな違いになってしまいます。
- B：分度器やコンパスなどの指導を入れる時には統一されたものが良いですね。でも「自分はこれじゃなきゃ駄目」というこだわりはなしにして、最終的には「どんな道具でも目的に応じて効果的に正確に使える」ようになることは大切だと思います。
- C：道具を使うセンスというか、算数のセンスってあるのかしら？
- A：見ただけで、量や数を想像できる、イメージできることがセンスなのかも…。
- B：算数のセンスがあるとすると、生活（環境）が大きく影響するのかな。それとも学習が影響するのかな。
- C：体育のセンスとなると、生まれつき…ですよね。算数のセンスも遺伝に少なからず影響していたりして…。
- B：でも、せめて小学校の算数程度なら、センスのある子供とない子供があるとするならば、繰り返し取り組ませることでその差をなくしたいですね。
- 全：四則演算、教具の使い方など毎日少しずつ取り組ませていくこと…日々の積み重ねって大切なんですよ。やっぱり。

乱筆乱文ですみません。修行していきます。m(._.)m